

令和7年11月18日
水産試験場

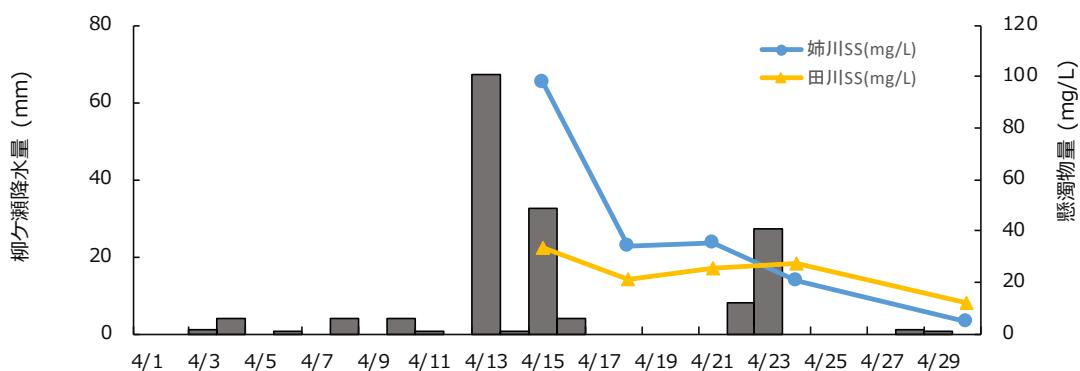
高時川濁水にかかる調査結果

【今年度の調査】※調査地点は従前どおり姉川ヤナ下と田川カルバート下。

これまでの当場の調査結果から、柳ヶ瀬での日降水量が40mmを超えると強い濁りが発生するものと考えられた。今年度は、柳ヶ瀬での日降水量が40mmを超えた日を基準に調査を開始し、濁りが収まると判断できる時点(透視度50cm以上)まで数日おきに調査した。

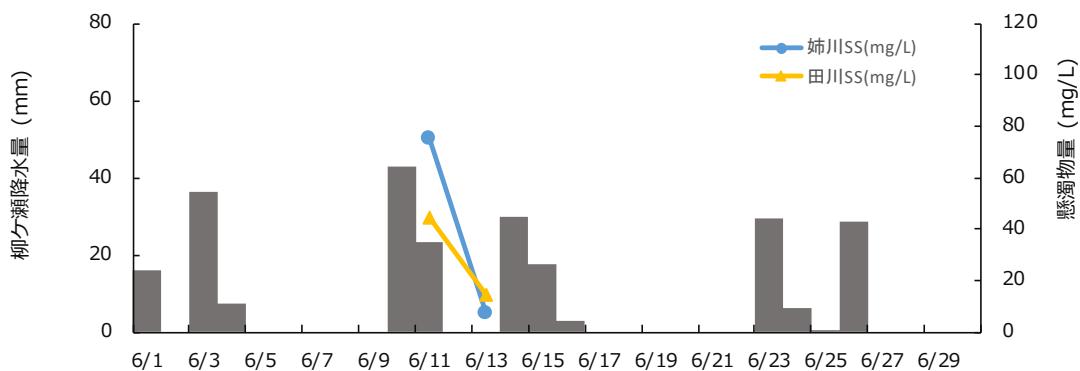
【測定項目】：透視度、懸濁物量(SS) ※今回はSSのみ掲載。

【結果】4月分



日降水量40mmを超えた日：4月13日、調査開始日：4月15日、調査終了日：4月30日

6月分



日降水量40mmを超えた日：6月10日、調査開始日：6月11日、調査終了日：6月13日

【考察】

4月については、18日以降懸濁物量が減少するペースが鈍っているが、これは代掻き水等の影響もあると思われる。一方6月については、降水による強い濁りは速やかに収束した。なお、昨年度は4月から7月にかけて40mm超の降水が7回あったが、今年度はこの2回のみであった。